

学習状況診断票(社会) 中学校 第2学年

2年 組 番 氏名

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点		
	大問	小問	通番		思考・判断	資料活用・表現	知識・理解
地理的分野	1	1	1	経線や緯線を活用して、世界のおもな国々や大陸を地図上の正しい場所に位置付けることができる。			
		2	2	各データを正しく読み取り、そのデータを適切に比較することができる。			
		3	3	オーストラリアの貿易相手国とその割合のグラフから、データの変化の様子をとらえ、適切に判断することができる。			
		4	4	ヨーロッパ周辺の国からヨーロッパの国々へ流入する労働者が多い理由を、資料から周辺国の所得の低さや失業率等に目し適切に考えることができる。			
		5	5	グラフから、4カ国それぞれの生産量の変化の様子を正しく読み取ることができる。			
	2	1(1)	6	地図を比べて、太平洋側と日本海側の気候の違いを考えることができる。			
		2(2)	7	地形や他の自然条件による影響から太平洋側と日本海側の気候に違いを生み出している原因を正しく理解している。			
		2(1)	8	山地・山脈の広がりや分布を正しく理解している。			
		2(2)	9	台風などの災害がもたらす被害について考えることができる。			
		3(3)	10	盆地、扇状地、三角州の分布を正しく理解している。			
歴史的分野	3	1	11	江戸時代に行われた政治の改革について、改革を行った人物やその年代を正しく理解している。			
		2	12	資料の中のことばや農民が起こした出来事に着目して資料を読み取り、江戸時代の農村の変化の様子を考え、江戸時代の資料を選ぶことができる。			
		3	13	江戸時代の文化について、その特徴と主な作品等について正しく理解している。			
	4	1	14	明治政府が積極的に近代化を進める中で、清やロシアと戦って海外にも進出したことを理解している。			
		2	15	日清戦争の講和条約が結ばれた下関など、地図を活用して適切に示すことができる。			
		3	16	アヘン戦争が起こった理由について、当時のイギリス・インド・中国の間で行われていた貿易の様子から考えることができる。			
		4	17	蒸気力の発明により、機械が実用化され、産業が発達し人々の生活が大きく変化したことを理解している。			
		5	18	新政府の諸改革について、それぞれの改革の内容にあてはまる資料を、絵資料から読み取ることができる。			
		6	19	立憲国家の成立の過程で憲法が制定され、天皇が元首として位置付けられていることを資料から読み取ることができる。			
		7	20	選挙制度が整えられたにもかかわらず、一部のみにしか選挙権が与えられなかった理由を、選挙権が与えられる条件から考えることができる。			
					/7	/6	/7

今後の学習に向けて ※自分が頑張りたいところに○を付けましょう。

思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや統計資料からわかることを明確にして、それらに関連付けて考えることを大切にしましょう。 ・「できごとがおきた要因」や「その影響、社会の様子や変化」などを常に考えることを大切にしましょう。 ・地図や資料などを用いて調べるだけでなく、わかること、考えられることを、ていねいにノートなどに書くように努力しましょう。キーワードを使ったり、自分の言葉でまとめて書いてみることを大切にしましょう。
資料活用・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や資料などを活用するときには、「タイトル」「単位や項目」「資料中の大事なことば」「資料の中の人々の様子」などの視点から、読み取るようにしましょう。 ・自分で略地図を書いたり、時代の特色を示す年表をつくったりするなど、地図化、資料化することに取り組んでみましょう。歴史上の出来事の場所を地図で調べるなど、歴史と地理で身に付けたことをそれぞれ生かすことも大切にしましょう。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した学び方を活用して、新聞などに掲載される地図や資料などを見るように努力しましょう。様々な地図や統計資料を見るなかで、学習したことを生かせるように取り組むことを大切にしましょう。 ・年表や時代の特色を示すカードなどをつくり、その時代の様子やその時代を生きた人々の姿などを明らかにして、歴史の大きな流れのなかで理解を深めていくように努力しましょう。